

事務事業実績測定調書

R5調書番号 339

事務事業名称	中学校給食における全員給食実施事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	総合教育部		課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4	○	R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	学校給食法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称	枚方市中学校給食あり方懇話会				
事業対象	メインターゲット	市立中学校生徒			
	サブターゲット	市立中学校生徒の保護者			
	ターゲットが抱える課題	・中学生の健康増進と栄養バランスの確保 ・食への理解、望ましい食習慣など食育の推進			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	成長期にある中学生が食育の実践とも言える、栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食を安定して摂ることで、健康な身体をつくるとともに、生涯に渡る健康で豊かな食生活を送るための基礎を培うことが期待できる全員給食の実施。				
事業概要	中学校給食は、子どもたちに栄養バランスの良い豊かな食事を提供するもので、健康増進や体位向上に加え、食育の教材として活用しやすくなり、より豊かな学校生活をめざすため、中学校の全員給食を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		生徒にとって望ましい持続可能な全員給食を実施でき、全生徒が栄養バランスの取れた安全安心な給食を安定的に摂ることで、より豊かな学校生活の実現が可能になる。	方針に基づいた諸活動について、適切に進めていく。	有識者・PTA・学校関係者等で構成する会議体により、持続可能で且つ生徒にとって望ましい給食のあり方を検討し方針を策定。その方針に基づき、施設・環境整備等を実施。
指標設定	指標説明	全員給食実施率 【算出式: 全員給食実施校数/全中学校数×100】	各年度における活動達成率 【算出式: 達成件数(累計)/本事業の給食提供が可能となるまでの各段階での諸活動数×100】	本事業の給食提供が可能となるまでの各段階での諸活動の達成件数(累計) (意見聴取⇒方針策定⇒各種改修・備品整備⇒委託契約⇒学校・保護者説明など7段階の15活動)
		単位	単位	単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2	R2	R2
	達成度	79%	78%	

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.38
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,071	7,812	10,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,071	7,812	10,895		
	物件費計	0	0	6,600	0	
歳出計		7,071	7,812	17,495		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	6,600	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年12月に策定した「今後の中学校給食に関する方針」について、様々な事業手法や費用等を比較検討し、本市の中学校全員給食において最適な事業手法を決定するため、令和5年度に可能性調査委託を行った。また、可能性調査の結果から、中学校全員給食における施設整備の実施方針を確定した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度に実施した可能性調査の結果及び中学校全員給食における施設整備の実施方針に基づき、PFI手法での整備に関して専門的支援を受けるためのアドバイザー委託について契約手続きを進めるなど、本市が目指す中学校全員給食に向け、着実に取り組みを進めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 444

事務事業名称	小学校給食事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	おいしい給食課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち							
	実行計画名		16-3.学校園施設等の整備							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2015 (H27) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	学校給食法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小学校で学校給食を喫食する児童			
	サブターゲット	児童の保護者			
	ターゲットが抱える課題	子どもたちの食生活の栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの課題がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもたちに学校給食を通じて、食育を行い生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくむことが出来る状態。				
事業概要	市内の市立小学校の児童を対象に、2か所の共同調理場、5か所の親子調理場及び22か所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		給食を通じて、児童の心身の健康が育まれる。				児童が安全で栄養バランスのとれた給食を摂ることができる。				給食を調理し、提供する。				
指標設定	指標説明	給食提供食数に対する喫食率 【算出式:喫食食数/給食提供食数×100】				調理食に対する提供率 【算出式:給食提供食数/調理食数×100】				小学校児童数及び教員数				
		単位	%	単位	%	単位	人							
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	100	100	100	100	100	100	100	100	22,192	21,110	21,305	20,813
		実績	100	100	100	100	100	100	100	100	22,345	21,110	21,305	20,813
達成度		100%				100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	41.58
再任用	2.50
任期付職員	0.50
会計年度任用職員	56.31
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	361,305	332,649	343,260		
	会計年度任用職員	149,606	140,640	156,500		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	510,911	473,289	499,760		
	物件費計	539,257	796,447	690,016	880,307	78.4%
歳出計		1,050,168	1,269,736	1,189,776		
歳入	国庫支出金	0	0	40,500	45,238	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	40,500	45,238	
一般財源（物件費に充当されるもの）		539,257	796,447	649,516	835,069	

5. 総括的分析

総括的分析	給食提供実施日すべてにおいて、共同調理場及び単独調理場で調理した安全で栄養バランスのとれた学校給食を全児童に提供することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	児童に、安全で栄養バランスのとれた給食をおいしく食べてもらえるよう、食育も含めた安定的な給食提供に継続して取り組んでいく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 445

事務事業名称	学校給食調理場施設維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	総合教育部		課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち							
	実行計画名		16-3.学校園施設等の整備							

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	学校給食法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校の学校給食調理場の設備等			
	サブターゲット	枚方市立小中学校で学校給食を喫食する児童生徒及びその保護者。			
	ターゲットが抱える課題	老朽化が進む調理場の効率的な維持管理や調理場のドライ化を進めなければならない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	学校給食衛生管理基準に基づいた適切な施設維持管理が行われることにより、安全でおいしい給食を安定的に児童生徒に提供する。				
事業概要	共同調理場・単独調理場において下記の維持管理業務等を実施する。 ・・・業務委託(塵芥処理・害虫駆除・各種設備定期点検・グリストラップ清掃等) ・・・各種改修工事(建築物・設備)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						学校給食調理場の継続的な運用が可能になる。				必要な修理・修繕を実施する。				
指標設定	指標説明					修理・修繕により、継続的運用が可能になった調理場及び配膳室の数(全64か所)				修理・修繕の実施件数				
	単位		か所		単位		件							
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					65	65	64	64	210	210	210	207
達成度						100%				66%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						学校給食調理場が適正に維持管理される。				必要な保守点検等を実施する。 (塵芥処理・害虫駆除・各種設備 定期点検・グリストラップ清掃等)			
指標 設定 ②	指標説明					保守点検等により、適正に維持管理された調理場数(全29か所)				保守点検等の実施件数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					-	29	29	29	-	21	22	23
	実績					-	29	29	29	-	18	18	19
	達成度					100%				83%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,286	9,531	12,632		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,286	9,531	12,632		
	物件費計	83,024	76,538	82,131	195,936	41.9%
歳出計		89,310	86,069	94,763		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	14,200	103,600	
	その他	0	0	4,000	34,000	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	18,200	137,600	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		83,024	76,538	63,931	58,336	

5. 総括的分析

総括的分析	年々、施設や厨房機器の経年劣化等での修繕が増加する中、必要な修理・修繕及び点検等については、滞りなく実施することができた。また、施設や設備の緊急対応以外の修理・修繕等については、事前調査のうえ状況を見極め実施するなど、適正な運用に努めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	安全で衛生的な給食を安定的に提供できるよう、適正な施設の維持管理を継続していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 447

事務事業名称	学校給食における地元農産物利用促進事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	総合教育部		課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2017 (H29) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	学校給食法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小学校給食を喫食する児童			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	農家の減少により地元農産物の給食食数を満たすだけの量の確保が困難になってきている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	地元産の食材を使用した学校給食を提供する。				
事業概要	小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第3次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を（重量ベース）38％の達成に向け、取り組みを進める。また、給食で使用する地元農産物を児童・保護者に周知し、食育の推進に繋げる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
ロジックモデル		地元農産物を使用することで、地域産業への関心や理解を深めるなどの食育を行うことが可能になる。				小学校給食用食材として、大阪府内産を含む地元農作物の利用が促進する。				小学校給食用食材として、大阪府内産を含む地元農作物を使用する。					
指標設定	指標説明	子どもたちが、大阪府の気候や環境で生産することができる米や野菜を知る。 【算出式: 枚方・大阪府内産農作物を使用したと献立表にて周知した回数／全献立表周知回数×100】 [指標数値根拠] 学校給食で枚方・大阪府内産農作物を使用した際に全児童(全家庭)に配付する献立表(年11回発行)で周知した達成度				米・野菜類全体購入量に対する枚方・大阪府内産の割合(重量ベース) 【算出式: 枚方・大阪府内産の米・野菜の重量／米・野菜類全体の重量×100】 [指標数値根拠] 食育推進計画の目標値38%の達成度				大阪府内産を含む地元農作物の使用品目数					
		単位		%		単位		%		単位		品目			
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2				R2				R2					
		R3				R3				R3					
		R4				R4				R4					
	R5				R5				R5						
目標 (見込み)		100	100	100	100	38	38	38	100	38	100	100	23	23	23
実績		100	100	100	100	33.30	33.90	9.0	23.7	5.0	13.2	95.80	18	20	20
達成度		100%				13%				87%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.28
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	2,187	2,211		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	2,187	2,211		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	3,143	2,187	2,211		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	野菜類については、枚方産・府内産合わせて20品目で31.9トン、うち枚方産は17品目25.2トン（えんどう豆、玉葱、さつまいも、大根、キャベツ、白菜、じゃがいも、ほうれんそう、チンゲンサイ、なす、小松菜、人参、かぼちゃ、里芋、黒米、冬瓜、青葱）を使用した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地元産の野菜類の使用については継続的に実施していくが、精米については、精米事業者の今後の対応によるため、第3次枚方市食育推進計画の目標達成は引き続きかなり難しい状況である。農家数の減少や天候等により厳しい状況も懸念されるが、野菜類については、引き続き積極的に取り組んでいく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 448

事務事業名称	食物アレルギー対応推進事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	総合教育部		課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	学校給食法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校で給食を喫食する食物アレルギーを持つ児童生徒			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	食物アレルギーを持つ児童生徒がアレルゲンのある給食を誤食してしまう。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	食物アレルギーを持つ児童生徒がアレルゲンのある給食を誤食しないよう安全な給食の提供方法を徹底できている状態。				
事業概要	食物アレルギー対応の適切かつ的確な取り組みを進める。 学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 中学校給食において、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を毎日行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		安心・安全な枚方の給食が提供される。				食物アレルギーを持つ児童生徒が、アレルゲンのある給食を誤食しないよう安全な給食が提供される。				「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた対応を実施する。			
指標設定	指標説明	学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数 (新規発症を除く)				全給食提供回数のうち、調理場からアレルゲンのある給食を誤食しない安全な給食を提供した回数の割合 【算出式:安全な給食を提供した回数/全給食提供回数×100】				対応マニュアルに基づいた対応を実施している小・中学校数			
	単位		件		単位		%		単位		校		
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	0	0	0	0	0	100	100	100	64	64	63
	実績	0	0	0	0	0	100	100	100	64	64	63	63
	達成度	100%				100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.75
再任用	0.00
任期付職員	0.20
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,929	6,640	6,877		
	会計年度任用職員	629	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,558	6,640	6,877		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		4,558	6,640	6,877		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	学校と連携しながら、マニュアルに基づいた運用を適正に行うことで、食物アレルギーのある児童生徒に対し安全な給食提供を実施することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	関係部署と連携し毎年説明会等を開催するなど、対応の強化に努め、食物アレルギーのある児童生徒が安心して給食を喫食できるよう、今後もマニュアルを遵守し安全な給食を提供していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 449

事務事業名称	中学校給食充実事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	おいしい給食課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち								
	実行計画名	16-2.快適で安心できる学習環境づくり								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	学校給食法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立中学校で給食を喫食する生徒			
	サブターゲット	生徒の保護者			
	ターゲットが抱える課題	生徒たちの食生活の栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの課題			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生徒たちに学校給食を通じて、食育を行い生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくむ。				
事業概要	中学校給食は、平成28年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。 中学校全19校の給食を選択した生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施し、給食を提供。 選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取り組みを進める中で、今後のあり方を検討するにあたり、意見聴取会を設置。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
		給食を通じて、生徒の心身の健康が育まれる。				各種取り組みを通じて、中学校給食が充実する。				中学校給食喫食率の向上に向けた取り組みを実施する。					
指標設定	指標説明		喫食率 【算出式: 給食を喫食した生徒数/全生徒数×100】				中学校給食新規喫食者数(年度当初月以降に新規で給食を喫食した人数)				中学校生徒への献立配付部数				
	単位		%		単位		人		単位		部				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2		R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)		35	50	50	50	110	510	505	1,388	14,000	10,200	10,100	9,900
		実績		33.80	35.10	35.20	37.40	352	206	132	327	12,800	12,080	11,920	12,200
達成度		75%				24%				123%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.65
再任用	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,571	12,343	15,546		
	会計年度任用職員	0	358	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,571	12,701	15,546		
	物件費計	303,631	337,024	343,338	84,587	405.9%
歳出計		316,202	349,725	358,884		
歳入	国庫支出金	0	0	9,500	10,611	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	9,500	10,611	
一般財源（物件費に充当されるもの）		303,631	337,024	333,838	73,976	

5. 総括的分析

総括的分析	生徒の身体の健全な発達に資するため、第一学校給食共同調理場で調理した安全で栄養バランスのとれた学校給食を滞りなく提供することができた。 また、主食量の調整や給食費振込方法などの利便性向上への案内について、文書等で周知を行うなど、継続して喫食率の向上への取り組みに努めた。新規の喫食者数は昨年度より減少したが、喫食率はわずかに上昇した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も中学校給食における課題を検証・改善し、改善した内容について広くPRしていくとともに、利用しやすく魅力ある給食への手法を検討しながら、喫食率向上に向け取り組んでいく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 454

事務事業名称	樟葉西小学校給食調理場改修事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	総合教育部		課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち							
	実行計画名		学校園施設等の整備							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業	
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	R4年度(2022年度)	年度まで
根拠法令等	学校給食法					
関係補助金名称				サンセット		～
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市立樟葉西小学校児童				
	サブターゲット	市立樟葉西小学校児童の保護者				
	ターゲットが抱える課題	建築後45年が経過する中で、学校に併設する最も古い単独の調理場の一つであり、地盤沈下により壁部分が沈み天井等との隙間ができるなど不具合があり、安定的かつ、安心・安全な給食の提供が受けれない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	調理場で衛生面と機能面の充実を図った改修後のドライシステムで、樟葉西小学校児童等に安定して継続的に、安全・安心な給食を提供できるようになる。					
事業概要	「第三学校給食共同調理場老朽化対策事業」が令和2年度に完了し、小学校単独調理場の整備の間における配送体制が整うことから、残る単独調理場については、その老朽化対策とドライシステム導入が喫緊の課題となっているため、順次整備を進めることとなっています。(平成30年3月30日今後の調理場の整備及び運営形態について(方針決裁))樟葉西小学校調理場は、建築後45年が経過する中で、学校に併設する最も古い単独の調理場の一つであり、地盤沈下により壁部分が沈み天井等との隙間ができるなど使用にあたって、不具合が生じている。また、冷凍・冷蔵設備や給排水設備などの改修が喫緊の課題となっている。このことから、経費・工期の縮減が見込める既存の建物を活用する長寿命化改修工事を行い、ドライシステム調理場として整備する。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						新樟葉西小学校給食調理場を供用することで、安全・安心な給食の調理が可能になる。				樟葉西小学校給食調理場改修を実施。			
指標設定	指標説明					安全で安心な給食調理可能数 (新樟葉西小学校単独調理場で調理可能な食数)				改修の進捗状況 (設計・仮配膳室設置・解体・建築・備品整備・仮配膳室撤去) 【算出式:実施数/計画数×100】			
						単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					—	800	0	800	—	17	67	100
	実績					—	800	0	0	—	17	17	100
達成度						0%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	2,344	3,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	2,344	3,158		
	物件費計	0	0	96,450	0	
歳出計		3,143	2,344	99,608		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	72,300	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	72,300	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	24,150	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度においては計画どおり改修工事を進めることができた。なお、工事を進める中で外壁補修数量、軒樋雨漏補修、電気幹線ケーブルのルート変更等が生じたため、変更契約を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度第2学期からの調理場の運営再開に向け、改修工事を進める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 460

事務事業名称	新型コロナウイルス感染症対策事業(学校臨時休業対策事業)									
測定年度	2023(R5)年度		部	総合教育部			課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち							
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R2年度(2020年度)	年度	～	年度まで	
根拠法令等	決裁等				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	小中学校児童生徒と保護者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	学校臨時休業時及び新型コロナウイルス感染症にかかる出席停止時の保護者の給食費負担			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時の学校給食休止及び出席停止者における給食費の負担を軽減するとともに、学校給食の適正運用を図る。				
事業概要	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時の給食休止及び出席停止者における給食費を補助する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		新型コロナウイルス感染症の影響 下での学校給食の適正運用が可 能になる。				給食費の補助により、保護者負担 が軽減できる。				新型コロナウイルス感染症に伴う 学校臨時休業時及び出席停止時 における給食費の補助				
指標設定	指標説明		適正運用率 【算出式:給食費補助額/(学校臨時休業日数×給食費＋出席停止日数×給食費)×100】				学校臨時休業及び出席停止期間 における給食費の保護者負担額。				新型コロナウイルス感染症に伴う 学校臨時休業時及び出席停止時 における給食費補助食数			
			単位		%		単位		円		単位		食	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	—	—	0	0	—	—	32,346	119,569	—	—
		実績	100	100	100	100	0	0	0	0	20,555	119,569	70,930	1,353
達成度		—				—				—				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.38
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,964	3,984	3,000		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,964	3,984	3,000		
歳入	物件費計	48,917	17,552	326	12,260	2.7%
	歳出計	50,881	21,536	3,326		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		48,917	17,552	326	12,260	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年4月12日（小学校）・11日（中学校）から令和5年5月2日までの間において、新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時の給食停止及び出席停止における給食費について、本事業による補助を実施した。新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業及び出席停止の見込み数が予測不能であるため、目標は設定していない。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取り組み方針	令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行したことに伴い、令和5年度を以て本事業を終了した。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 899

事務事業名称	おいしい給食課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	総合教育部			課	おいしい給食課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	おいしい給食課職員・職場			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	おいしい給食課の各事業が円滑に執行できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	おいしい給食課の各事業が円滑に執行できている状態。				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明											
	指標種類											
	指標数値	目標 (見込み)										
		実績										
	達成度											

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.39
再任用	0.00
任期付職員	0.30
会計年度任用職員	1.86
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	22,785	21,405	20,303		
	会計年度任用職員	419	947	5,356		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	23,204	22,352	25,659		
	物件費計	2,366	2,891	2,829	2,211	128.0%
歳出計		25,570	25,243	28,488		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,366	2,891	2,829	2,211	

5. 総括的分析

総括的分析	各運営事務について、組織として円滑に事務執行を行うことにより、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を確実に児童・生徒へ提供できた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	他部局や各調理場との連絡、調整を図りながら、正確かつ迅速に事務処理を行い、円滑な事務執行を行う。